



**徳持神社を訪ねて**

徳持神社は災害時における徳持北町会の一時的集合場所です。宮司の大村忠さんに話を聞きました。

「一時集合場所というのはいつときも利用するものなので神社や社務所など建物に入ることはできません。境内に集合した後、避難場所へ移動してもらいます。備蓄や宿泊などはありません。帰宅困難者が出たら対応しますが、境内には鳥居や灯籠など倒壊の恐れがあるものも存在するため、長居することは想定されていません」とのこと。実際に東日

本大震災では灯籠が倒壊したそうです。一時集合場所として利用し、早めに避難場所の安全な場所へ移動するほうがよいでしょう。大村さんは「地域は助け合うもの。備えあれば憂いなしです」とも話していました。(堀越)



**ヘルパー活動日誌 石田 博子**



**■世の中に貢献したい**

定年退職後1年はゆっくりして、その後は世の中に貢献できる仕事をしていければと思ったとき、友人が「はせさんず」のヘルパーをしていまして紹介してもらい、今日に至っています。最初は同行のサービス提供責任者のまねをするだけで1時間はあつという間でし

**第25回はせさんず講演会**

「隣近所、みな高齢者」という社会であなたはどのように生きていきますか？  
-高齢者に不可欠なのは、本当に「医療・介護」なのか!?-



3月23日(土)、NPO法人「老いの工学研究所」理事長の川口雅裕さんを講師に迎え、大田区立池上会館第2会議室で開催。高齢者の暮らし方や環境を研究している川口さんの話を楽しく聞き、参加者が多数集まりました。参加者45名。柔らかな関西弁でジョークを交えながらのわかりやすい説明は大変好評で、「講演会に参加することも交流の一つ」との話に会場が盛り上がりました。詳細は、はせさんず機関紙『百日草』に掲載します。

た。その頃のサ責の皆さんは忘れられません。 ■入院で経験したこと 60歳代中頃に手術をして、1か月半の入院生活では腰の辺りに管を2本付け半月ほど寝たきり状態でした。看護師さんたちのオムツ交換や清拭は早くてスムーズで気持ちよく、すごいと感

じました。同じ身体介護を提供する介護職だからこそのわかるとこでしよう。 ■リハビリは自分でがんばる 管がはずれてからのリハビリは大変で、最初は一歩も自立歩行ができませんでしたが、退院する頃には杖歩行ができるようになりました。

必要の支援などができなくなり、自分自身が守りに入ってしまった気もしますが、この先も利用者と

医師から勧められたリハビリ病院を、自力でがんばりてからは、家事や毎日の杖をついての散歩などで徐々に体力もつき、身体のパラ

■ヘルパーを続けていく 入院から3か月後には仕事への復帰ができませんでした。ただ、入院前まではできたオムツ交換や力仕事、遠距離の自転車での移動が

必要の支援などができなくなり、自分自身が守りに入ってしまった気もしますが、この先も利用者と

**介護保険 ケアサポート ケアマネジャー募集**

- 勤務 月曜日～金曜日 原則9:00～18:00
- 勤務日、時間は応相談
- 指定の研修受講料等は法人負担
- 主任ケアマネは優遇

問い合わせ 清水5747-2800

**介護保険 デイホーム ドライバー募集**

- 勤務 週1～2日 1日6時間程度
- 利用者の朝・夕の送迎 および午後の外出
- 車両 キャラバン 普通免許でOK
- 時給 1時間1200円

問い合わせ 岡田5747-2660

**会員制たすけあい 移送サービス 活動会員募集**

- 普通免許でOK
- 自家用車またははせさんずの車両を使用できます
- 指定の研修(1日程度)受講料は法人負担
- 謝礼 1時間850円から

問い合わせ 内山5747-2610

**■特定相談支援事業開始**

ヘルパーステーションは、4月から障害福祉サービス等の利用計画を作成する事業所を開設しました。相談支援専門員は榎拓己。

**■事務局だより**

4月から鈴木陽子さんがヘルパーステーションのサービス提供責任者として入りまし

また、3月末でケアサポートの平山明美さんが退職しました。

**はせさんず各部門スタッフより 聞いて! 聴いて!** ※発行が当初の予定より遅くなり執筆から時間を経た記事があります

**会員制たすけあい活動**

以前ある本に「欧米では企業の紳士が移動の不自由な人の送迎を自分の車で当然のようにしている」とあり、いつかは自分も思っていたところ、区の施設でボランティア送迎ドライバー募集のチラシを見つけました。それまでの30数年間の会社、業界という狭い世界から、こちらの高齢者、障害者とかかわりの中で新たな学びを日々感じつつ、この志高い活動の手伝いができることに変感謝しています。(小平康人)

**ヘルパーステーション**

久しぶりに休日の多摩川沿い、1時間ほど気持ちのよい散歩を楽しみました。河川敷ではサッカー・少年野球などで人々が汗を流し、小学校低学年の子どもが打ったあとうろろしているのにコーチが指示するのもほほえましく思わず見入ったり、車椅子で散歩する人に会ったり。何気ない日常の風景は、災害・争いごとの続くなかで貴重な時間に思えました。もちろん散歩のあとはおいしいコーヒーを飲みました。(平尾淑江)

**ケアサポート**

夏の旬といえば、枝豆、オクラ、胡瓜、トマト、茄子、スイカ、葡萄、メロン、穴子、鰻、鮎、鯛、カマスなどが挙げられます。これら旬の食材は夏を乗り切るために必要なビタミンやカリウムを多く含んでいます。ビタミンは疲労回復、免疫の向上、カリウムは脱水・熱中症予防効果があります。さあ、さあ、おいしいものをみんなで大いに食べましょう。大いに楽しみましょう。そして夏を乗り切りましょう。(小室恵美子)

**デイホーム**

今年も桜の季節がやってきました。毎年、多摩川の土手の桜と、地面一面に咲く浜大根の花の風景にわくわくします。年齢とともにあ何回この風景を見ることができののかと思ってきました。「けふまははけふ捨てて初桜」これは私の好きな俳句の一つですが、また新しい季節、心機一転、がんばろうという気持ちになります。今年は少しゆっくり花見ができそうで楽しみです。(太田真美)

**元気かい**

元気かいに携わりはや20数年。パソコン教室、絵手紙、太極拳、歌の会、英会話、遠足のバスツアー、工場・飛行場・市場等見学会、講習会、映画鑑賞、美術館、「題名のない音楽会」鑑賞、さらに大田フェスタでのフリーマーケットのお手伝いなど、多様な展開がありました。今、私は健康麻雀にはまっています。句会も12年、最近ではテラッコ池上での開催ですが、先日は池上梅園に吟行句会したばかりです。(久野 孝子)